

第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略 アクションプラン記載事業一覧

【資料8】

No.	事業期間	事業名	事業内容	本事業における成果指標			R4評価結果(R3実績)				事業費(単位:千円)			第2期総合戦略・基本目標との関係	担当課
				本事業における成果指標(単位)	実績値(R2)	実績値(R3)	実施効果		今後の方針	決算額(R2)	決算額(R3)	予算額(R4)			
							1. 地方創生に非常に効果的であった 2. 地方創生に相当程度効果があった 3. 地方創生に効果があった 4. 地方創生に効果がなかった	どの様に効果的であったか、又はなかったか具体的に記入をお願いします。					1. 追加等更に発展させる 2. 事業内容の見直し 3. 事業の継続 4. 事業の中止 5. 予定どおり事業終了		
1	R2～R6	企業ガイダンス開催事業	求職者の就業と企業の人材確保を支援するため、UJターン就職フェアと企業ガイダンスを開催する。	参加企業数(社)	0	0	4. 地方創生に効果がなかった	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、UJターン就職フェアは中止となる。	3. 事業の継続	県外へ進学した大学生がUターンせず、市外へ流出していく傾向があり、人口対策・経済活性化策として、雇用の場の確保として事業継続の必要がある。	440	0	4,227	I しごとをつくり、安心して働けるようにする、これを支える人材を育てて活かす	商工振興課
2	R2～R6	勤労者生活安定資金貸付金預託事業	勤労者の生活安定に寄与するため、中央労働金庫と協同して融資を行う。	審査基準に合格した勤労者(人)	4	3	3. 地方創生に効果があった	市と中央労働金庫とが協同して融資を行うことで、勤労者の生活安定に寄与することは、勤労意欲の向上になる。	3. 事業の継続	幅広く市民へ制度の周知を図り、働く者への融資を通じ、勤労者の生活安定に寄与する。	2,000	2,000	2,000	I しごとをつくり、安心して働けるようにする、これを支える人材を育てて活かす	商工振興課
3	R2～R6	商工業事業資金利子補給支援事業	商工業者が経営安定と事業発展のための資金融資を受けた場合、利子を補給する。	経営安定が図られた商工業者(数)	13	10	3. 地方創生に効果があった	商工業者の事業資金の融資に対し、一部財政支援を行い、経営安定と事業発展により、市内の商工業振興に努めた。	3. 事業の継続	意欲がある商工業者経営者から事業運営資金として期待される。市として継続的に支援する必要がある。	1,069	658	2,000	I しごとをつくり、安心して働けるようにする、これを支える人材を育てて活かす	商工振興課
4	R2～R6	小口資金融資保証料支援事業	資金調達困難な小規模事業者の担保力を補い、零細小口金融の疎通を図る。	経営安定と事業発展が図られた申請者(人)	2	13	3. 地方創生に効果があった	資金調達が困難な小規模事業者の信用力及び担保力の不足を補い、零細小口金融の疎通を図り、経営安定に繋がった。	3. 事業の継続	本制度を利用することで市内企業の経営安定や事業発展に繋がることが期待できるため、継続的に支援する必要がある。	70	216	720	I しごとをつくり、安心して働けるようにする、これを支える人材を育てて活かす	商工振興課
5	R2～R6	地域ものづくり企業成長投資支援事業	企業の設備投資を支援し、地域産業の活性化と雇用創出力の向上を図る。	経営安定が図られた企業(社)	4	7	3. 地方創生に効果があった	企業が設備投資に要する経費に対し一部財政支援を行ったことにより、産業の成長基盤の強化が図られた。	3. 事業の継続	企業の設備投資意欲に応じ、企業の経営安定と事業の発展により、企業振興に繋がるため継続的に支援する必要がある。	14,000	25,000	18,000	I しごとをつくり、安心して働けるようにする、これを支える人材を育てて活かす	商工振興課
6	R2～R6	農業後継者支援事業	県立農業大学校へ通学している学生を奨学助成金により支援し、農業の担い手育成の一助とする。	新規認定農業者数(人)	8	8	3. 地方創生に効果があった	後継者不足と担い手が減少するなか、受給学生の市内就農に繋がっている	1. 追加等更に発展させる	農業大学に新たに森林学科が増設されたことに伴い、今後は林業支援の拡大に繋がりたい。	576	768	768	I しごとをつくり、安心して働けるようにする、これを支える人材を育てて活かす	農政課
7	R2～R6	環境保全型農業直接支払制度支援事業	減農薬に取り組み、地球温暖化防止・生物多様性保全に効果の高い営農活動を行う団体を支援する。	実施した地区(地区)	1	1	3. 地方創生に効果があった	環境保全に効果の高い営農活動に対し経済的支援を行うことで、農産物の付加価値の向上(食の安全安心の推進)や販売促進に繋がった	3. 事業の継続	取組内容や制度について分かりやすく周知を行い、取り組みを実施する農業者を増やしていく。	889	1,206	1,407	I しごとをつくり、安心して働けるようにする、これを支える人材を育てて活かす	農政課

第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略 アクションプラン記載事業一覧

【資料8】

No.	事業期間	事業名	事業内容	本事業における成果指標			R4評価結果(R3実績)				事業費(単位:千円)			第2期総合戦略・基本目標との関係	担当課
				本事業における成果指標(単位)	実績値(R2)	実績値(R3)	実施効果		今後の方針	決算額(R2)	決算額(R3)	予算額(R4)			
							1. 地方創生に非常に効果的であった 2. 地方創生に相当程度効果があった 3. 地方創生に効果があった 4. 地方創生に効果がなかった	どの様に効果的であったか、又はなかったか具体的に記入をお願いします。					1. 追加等更に発展させる 2. 事業内容の見直し 3. 事業の継続 4. 事業の中止 5. 予定どおり事業終了		
8	R2～R6	農林業政策推進事業	農林業の振興と6次産業化・事業化の推進を図るため、必要な調査研究を行う。	栽培可能な新作目(種)	1	0	4. 地方創生に効果がなかった	6次産業化に向けての栽培可能な作目を検討したが調査研究まで至らなかった。	3. 事業の継続	昨年度は対象作目がなく未実施となったが、継続して6次案業化に繋がりそうな作目を調査研究する農業者を探すことから始める。	450	0	545	I しごとをつくり、安心して働けるようにする、これを支える人材を育てて活かす	農政課
9	R2～R6	南アルプスブランド戦略事業	南アルプスブランドの確立により、農業の付加価値を高め、産地間競争力の強化を図る。	貴陽・皇寿・シャインマスカット・あんぼ柿の出荷量(kg)	644,627	708,575	3. 地方創生に効果があった	ブドウ、スモモの生産地として、販売額の増加を目標に雨よけ施設や機器導入の補助金を交付し産地競争力の強化を図った。農産物のPR動画の放映や新聞広告等、販路拡大に向けた取組みを実施した。	3. 事業の継続	本市産の果物等の認知も含め、今後の農業の振興・産地化の強化に繋げるため、事業の継続が必要である。	15,390	28,338	23,925	I しごとをつくり、安心して働けるようにする、これを支える人材を育てて活かす	農政課
10	R2～R6	就農支援事業	農家子弟がリース方式で経営規模拡大のために必要な農業用機械等を導入する時に支援する。	申込をした新規農家子弟(人)	2	0	4. 地方創生に効果がなかった	当該事業の申請がなかった。	3. 事業の継続	事業の周知を図り、就農支援に繋げたい。	2,347	0	1,200	I しごとをつくり、安心して働けるようにする、これを支える人材を育てて活かす	農政課
11	R2～R6	担い手支援事業(地域おこし協力隊支援事業)	都市在住で農業の意欲を持つ者から新たな担い手を育成し、移住者獲得を目指す。	協力隊員数(人)	7	8	3. 地方創生に効果があった	研修終了後には、市内に定住してもらうことにより、市内農業の新たな担い手として、また地域の活性化にも貢献している。	3. 事業の継続	研修先の拡充及び研修体制への指導を行い、研修の質の向上を図る。	18,725	27,359	34,710	I しごとをつくり、安心して働けるようにする、これを支える人材を育てて活かす	農政課
12	R2～R6	農業次世代人材投資事業	新規青年就農者の拡大を図るため、経営が安定するまでの最長5年間給付金を支給する。	この事業の対象になった市民等(人)	11	9	3. 地方創生に効果があった	50歳未満での独立・自営就農は経営リスク等もあり、就農へ踏み出せない所もあるが、生活支援等により新規就農が可能になり農業の担い手の増加に繋がっている。	3. 事業の継続	今後も、意欲ある就農者へ支援を続けることで、新規就農者の増大を図り、農業の担い手不足の解消及び遊休農地対策に繋げたい。	13,547	11,909	18,750	I しごとをつくり、安心して働けるようにする、これを支える人材を育てて活かす	農政課
13	R3～R6	中高年の新規就農者支援事業	50歳から65歳未満の新規就農希望者に対して、就農リスクの軽減を目的に補助金を交付し、高齢化等による担い手不足の解消や遊休農地等の活用を図る。	50歳から65歳未満の新規就農者	-	3	3. 地方創生に効果があった	65歳未満での独立・自営就農は経営リスク等もあり、就農へ踏み出せない所もあるが、生活支援等により新規就農が可能になり農業の担い手の増加に繋がっている。	3. 事業の継続	今後も、意欲ある就農者へ支援を続けることで、新規就農者の増大を図り、農業の担い手不足の解消及び遊休農地対策に繋げたい。	-	4,500	10,500	I しごとをつくり、安心して働けるようにする、これを支える人材を育てて活かす	農政課
14	R2～R6	南アルプスIC新産業拠点整備事業	南アルプスIC周辺の新産業拠点整備事業用地(旧完熟農園跡地)の再開発を図る。 ※用地買収費は除く	①用地交渉を完了した地権者の割合(%) ②事業用地に参入した企業数(社)	①100 ②0	①100 ②0	4. 地方創生に効果がなかった	令和3年10月より公募を開始したが、参入企業が決定していないため、直接的な効果に至っていない。	3. 事業の継続	令和4年度に参入企業を選定し、令和6年度の開業を目指し、土地利用方針の下でまちづくりの核を創出する。	16,735	21,529	212,722	I しごとをつくり、安心して働けるようにする、これを支える人材を育てて活かす	南アルプスIC新産業拠点整備室

第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略 アクションプラン記載事業一覧

【資料8】

No.	事業期間	事業名	事業内容	本事業における成果指標			R4評価結果(R3実績)				事業費(単位:千円)			第2期総合戦略・基本目標との関係	担当課
				本事業における成果指標(単位)	実績値(R2)	実績値(R3)	実施効果		今後の方針		決算額(R2)	決算額(R3)	予算額(R4)		
							1. 地方創生に非常に効果的であった 2. 地方創生に相当程度効果があった 3. 地方創生に効果があった 4. 地方創生に効果がなかった	どの様に効果的であったか、又はなかったか具体的に記入をお願いします。	1. 追加等更に発展させる 2. 事業内容の見直し 3. 事業の継続 4. 事業の中止 5. 予定どおり事業終了	今後の事業に対する担当者の考え(継続の有無含む)をご記入ください。					
15	R2～R6	南アルプスIC周辺整備事業	交通利便性に優れ、地域経済の牽引に繋がる可能性の高い南アルプスIC周辺エリアについて、開発可能性を探り、更なる土地活用を図る。	事業用地に参入した企業数(社)	0	0	4. 地方創生に効果がなかった	令和3年度は、土地利用に関する調査研究段階であるため、直接的な効果には至っていない。	3. 事業の継続	土地利用計画の策定に向けて、地域・地権者及び市民との合意形成を図るとともに、有識者や関係団体も含めた検討委員会を設置し、活用方策の具体的な検討を行う。	4,424	20,387	10,907	I しごとをつくり、安心して働けるようにする、これを支える人材を育てて活かす	南アルプスIC新産業拠点整備室
16	R2～R6	新規創業者資金借入補助金支給事業	新規に創業する事業者に借入金を補助し、地域産業の活性化と雇用創出力の向上を図る。	経営安定が図られた商工業者(数)	7	3	3. 地方創生に効果があった	商工業者の事業資金の融資に対し、一部財政支援を行い、経営安定と事業発展により、市内の商工業振興に努めた。	3. 事業の継続	意欲がある商工業者経営者(創業後5年未満)から事業運営資金として期待される。市として継続的に支援する必要がある。	333	268	485	I しごとをつくり、安心して働けるようにする、これを支える人材を育てて活かす	商工振興課
17	R2～R6	創業支援事業	地域産業の活性化を図るため、創業支援セミナーやP-1グランプリ(市産果物のピューレを使った新商品のコンテスト)を開催する。	雇用創出数(件)	11	15	3. 地方創生に効果があった	商工会と連携を図りながら創業支援セミナーを実施し、「個別支援型創業支援テキスト」などを活用して創業を支援する。新規創業者11名に繋がった。	3. 事業の継続	意欲のある女性・若者などが創業・起業を実現できるよう、効果的な支援が必要である。	1,264	2,232	3,921	I しごとをつくり、安心して働けるようにする、これを支える人材を育てて活かす	商工振興課
18	R2～R6	南アルプス市産業立地事業費助成金交付事業	企業立地を促進し雇用機会の拡大を図り、地域産業の振興及び市民生活の安定に寄与する。	操業開始企業数(社)	1	1	2. 地方創生に相当程度効果があった	雇用機会の確保、地元雇用の拡大、税収の増加が見込まれる。	3. 事業の継続	企業への直接的な支援策ではあるが、その成果は市へ還元され、地域経済の活性化に寄与する。	10,187	0	100,000	I しごとをつくり、安心して働けるようにする、これを支える人材を育てて活かす	商工振興課
19	R2～R6	企業支援誘致推進事業	企業の工場拡張や企業誘致などの支援を行い、産業経済の活性化を図る。	新規工場立地数(数)	1	4	2. 地方創生に相当程度効果があった	雇用機会の確保、従業員の所得増加及び税収の増加が見込まれる。	3. 事業の継続	事業を継続することで、企業からの信頼性確保につながる。	1,117	1,465	2,041	I しごとをつくり、安心して働けるようにする、これを支える人材を育てて活かす	商工振興課
20	R2～R6	南アルプス市フルーツ山麓フェスティバル開催事業	観光の柱である山岳観光と果樹観光を県内外にPRし、市民が楽しめるイベントを夏と秋に開催する。	①市外参加者数(人) ②延べ参加人数(人)	①500 ②3,000	①600 ②1,300	3. 地方創生に効果があった	新型コロナウイルス感染拡大防止により、トレッキングツアーやサマーフェスティバル、紅葉祭などは中止になったが、代替イベントとして、ドライブインシアターやオータムフェアなどコロナ禍でも可能なイベントを企画・開催して市内外の方に楽しんでいただいた。	3. 事業の継続	イベントについては、交流人口の増加に繋がるものなので、今後も継続する必要がある。	2,276	4,787	14,660	II 新しいひとの流れをつくる	観光推進課
21	R2～R6	観光プロモーション事業	観光を経済の柱に育てるため、交通アクセスの向上を活かしたプロモーション事業を行う。	ユネスコエコパークガイドマップ配布数(部)	18,000	20,000	3. 地方創生に効果があった	東海圏を中心に観光PR活動を行った結果、静岡県からの観光客が増加し、また、ふるさと納税額も増加している。	3. 事業の継続	中部横断自動車道の静岡山梨間が開通したことにより、アクセスがさらに向上したことから、今後も東海圏、中京圏また長野方面を重点的に観光PR活動を行う。	25,105	24,446	29,323	II 新しいひとの流れをつくる	観光推進課

第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略 アクションプラン記載事業一覧

【資料8】

No.	事業期間	事業名	事業内容	本事業における成果指標			R4評価結果(R3実績)				事業費(単位:千円)			第2期総合戦略・基本目標との関係	担当課
				本事業における成果指標(単位)	実績値(R2)	実績値(R3)	実施効果		今後の方針	決算額(R2)	決算額(R3)	予算額(R4)			
							1. 地方創生に非常に効果的であった 2. 地方創生に相当程度効果があった 3. 地方創生に効果があった 4. 地方創生に効果がなかった	どの様に効果的であったか、又はなかったか具体的に記入をお願いします。					1. 追加等更に発展させる 2. 事業内容の見直し 3. 事業の継続 4. 事業の中止 5. 予定どおり事業終了		
22	R2～R6	ふるさとづくり推進事業	市の魅力に触れ愛着を感じてもらえるような着地型観光を企画する団体を支援する。	県外からの参加者数(人)	0	0	4. 地方創生への効果は表れていない	新型コロナウイルス感染拡大防止により、事業者による着地型観光ツアーへの参加者が集まらなかった。	3. 事業の継続	着地型観光は、本市の観光を経済の柱に育てるためには重要な事業であるので、定着するまでは支援は必要である。	-	-	1,000	II 新しいひとの流れをつくる	観光推進課
23	R2～R3	伊奈ヶ湖周辺再整備事業	森林アスレチック等の整備及び駐車場の増設、看板改修を行う。	市ホームページへのアクセス数(上段:トップページ、下段:全体)	12,833	-	-	-	-	-	-	-	-	II 新しいひとの流れをつくる	観光施設課
24	R2～R6	シティプロモーション事業	市の魅力を発信し、市の知名度を高めるシティプロモーション事業を行い、交流・定住人口の拡大を目指す。	市ホームページへのアクセス数(上段:トップページ、下段:全体)	313,512件 2,708,327件	410,652件 3,228,149件	3. 地方創生に効果があった	シティプロモーション戦略を策定し、戦略に基づいた事業を企画立案し、新規事業に繋げた。	3. 事業の継続	市民団体等によるシティプロモーション事業を展開し、市内外に市の魅力を発信する。今後はSNSを活用し、情報発信を推進する。	8,453	0	4,240	II 新しいひとの流れをつくる	秘書課
25	R2～R6	若者世帯定住支援奨励金事業	定住促進を図るため、市内に土地と建物を新築・購入する若者世帯に購入費の一部を助成する。	申請件数(件)	120	162	1. 地方創生に非常に効果的であった	補助金の周知が行き届いていることもあり、補助金対象世帯がR2年度120件からR3年度162件と増加した。	1. 追加等更に発展させる	移住定住事業をより推進させるために対象世帯の拡充の検討が必要。	34,500	43,600	58,100	II 新しいひとの流れをつくる	ふるさと振興課
26	R2～R6	交流定住促進事業	都市住民と定住・移住・二地域居住に関する情報交換を行い、交流定住人口の拡大を図る。	説明会等への参加者数(人)	0	6	1. 地方創生に非常に効果的であった	令和2年度はコロナ影響もあり事業の実施が出来なく、オンラインのみの参加者のみであった。今年度は移住相談会の開催が可能になることで実績を上げることができる。	3. 事業の継続	継続的にオンライン説明会の開催と県外での移住相談会の参加を積極的に行い周知拡大が必要。	74	135	6,531	II 新しいひとの流れをつくる	ふるさと振興課
27	R2～R6	空き家バンク事業	空き家の登録・情報提供を行い、定住・移住・二地域居住を促進して地域の活性化を図る。	空き家バンク成約数(件)	9	7	1. 地方創生に非常に効果的であった	移住定住を推進するなかで、前年度比較で成約件数は2件減少し7件であったが登録物件を増やすことでより移住定住・人口減少を食い止めることができる。	3. 事業の継続	今後も登録物件を増やすため広く周知を図る。	6,008	2,496	6,230	II 新しいひとの流れをつくる	ふるさと振興課
28	R2～R6	芦安地区地域おこし協力隊事業	人口減少と高齢化が進む芦安地区に地域おこし協力隊を採用し、地域力の維持強化を図る。	地域活動参加者(人)	156	388	1. 地方創生に非常に効果的であった	コロナ禍ではあったが、できる範囲でイベントを企画し、芦安地区の魅力を発信している。試行錯誤しながら酷暑に強い作物を栽培し効果が出ている作物を住民にも伝え、情報交換している。	3. 事業の継続	芦安地区の人口減少と高齢化に伴い魅力ある自然と文化を継承していくためには協力隊の斬新な発想と行動力が必要である。	3,979	7,616	8,501	II 新しいひとの流れをつくる	芦安窓口サービスセンター

第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略 アクションプラン記載事業一覧

【資料8】

No.	事業期間	事業名	事業内容	本事業における成果指標			R4評価結果(R3実績)				事業費(単位:千円)			第2期総合戦略・基本目標との関係	担当課
				本事業における成果指標(単位)	実績値(R2)	実績値(R3)	実施効果		今後の方針	決算額(R2)	決算額(R3)	予算額(R4)			
							1. 地方創生に非常に効果的であった 2. 地方創生に相当程度効果があった 3. 地方創生に効果があった 4. 地方創生に効果がなかった	どの様に効果的であったか、又はなかったか具体的に記入をお願いします。					1. 追加等更に発展させる 2. 事業内容の見直し 3. 事業の継続 4. 事業の中止 5. 予定どおり事業終了		
29	R2～R6	住宅リフォーム等総合支援事業	住環境の向上と地域経済の活性化を図るため、市内業者によるリフォーム工事の一部を補助する。	リフォーム住宅の申し込み数(件)	59	60	3. 地方創生に効果があった	市民の居住環境の向上と市内産業の活性化に寄与した。	3. 事業の継続	市民の居住環境の向上と市内産業の活性化に効果が期待されるため、継続したい。	5,900	6,000	6,000	Ⅱ 新しいひとの流れをつくる	管理住宅課
30	R3～R6	結婚新生活支援事業	新婚世帯に対して、結婚に伴う新生活の費用(住宅取得費・家賃・引越)を補助する。	市内に居住する新婚世帯(令和3年度の場合、令和3年1月1日以降に婚姻した夫婦で、夫婦ともに39歳以下、世帯所得400万円未満の世帯)	-	16	3. 地方創生に効果があった	結婚に伴う新生活の費用を支援することで少子高齢化、人口減少を図る。	3. 事業の継続	随時国の制度の見直しが行われているので、国の要綱と併せて見直しを随時行う。	-	4,460	4,500	Ⅱ 新しいひとの流れをつくる	ふるさと振興課
31	R2～R6	地域子育て支援事業	子育て支援の充実を図るため、地域子育て支援拠点事業や一時預かり事業を実施する。	利用者(人)	6,500	3,832	3. 地方創生に効果があった	子育て世帯への相談や保育の支援に効果があった	3. 事業の継続	利用希望者数に応じた事業展開を継続する必要がある。	47,541	48,014	62,582	Ⅲ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる、誰もが活躍できる地域社会をつくる	子育て支援課
32	R2～R6	子ども用品貸出事業	子育て世帯の負担軽減のため、希望者にベビーベッドとチャイルドシートを無料で貸し出す。	安全に利用できる人(%)	100	100	1. 地方創生に非常に効果的であった	子育て世帯への負担軽減に効果があった。	3. 事業の継続	利用希望者数に応じた事業展開を継続する必要がある。	3,160	3,165	3,793	Ⅲ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる、誰もが活躍できる地域社会をつくる	子育て支援課
33	R2～R6	子ども医療費助成事業	18歳までの子どもの医療費を助成し、子育て家庭の負担軽減と子どもの保健福祉の増進を図る。	子育ての環境が整っていると感じている市民の割合(%)	52.1		3. 地方創生に効果があった	子育て世帯への負担軽減に効果があった。	3. 事業の継続	子ども保健福祉の増進のため事業を継続する必要がある。	286,601	324,439	348,186	Ⅲ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる、誰もが活躍できる地域社会をつくる	子育て支援課
34	R2～R6	病児・病後児保育事業	子どもの保健福祉の増進を図るため、病児・病後児保育を行う私立保育園を支援し、受入れ自治体に負担金を支出する。	利用者数(人)	385	472	3. 地方創生に効果があった	子育て世帯への保育の支援に効果があった	3. 事業の継続	利用希望者数に応じた事業展開を継続する必要がある。	18,369	17,550	24,740	Ⅲ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる、誰もが活躍できる地域社会をつくる	子育て支援課
35	R2～R6	児童手当給付事業	子どもの健全育成を社会全体で支えるため、中学生までの児童を養育している者に手当を支給する。	支給した児童の割合(%)	99	99	3. 地方創生に効果があった	児童の養育者への支援に効果があった。	3. 事業の継続	今後も児童養育者への支援のため事業を継続する必要がある。	1,153,950	1,132,840	1,168,125	Ⅲ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる、誰もが活躍できる地域社会をつくる	子育て支援課

第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略 アクションプラン記載事業一覧

【資料8】

No.	事業期間	事業名	事業内容	本事業における成果指標			R4評価結果(R3実績)				事業費(単位:千円)			第2期総合戦略・基本目標との関係	担当課
				本事業における成果指標(単位)	実績値(R2)	実績値(R3)	実施効果		今後の方針		決算額(R2)	決算額(R3)	予算額(R4)		
							1. 地方創生に非常に効果的であった 2. 地方創生に相当程度効果があった 3. 地方創生に効果があった 4. 地方創生に効果がなかった	どのように効果的であったか、又はなかったか具体的に記入をお願いします。	1. 追加等更に発展させる 2. 事業内容の見直し 3. 事業の継続 4. 事業の中止 5. 予定どおり事業終了	今後の事業に対する担当者の考え(継続の有無含む)をご記入ください。					
36	R2～R6	新生児おむつ代支給事業	子育て世帯の経済的負担の軽減を図るため、乳児の紙おむつ等の購入を補助する。	子育てが楽しいと回答する母の割合(%)	91.2	88.6	3. 地方創生に効果があった	おむつ代支給事業は、子育てを担う親の経済的支援の一助であり、子育てしやすい南アルプス市に繋がる一つの事業である。	3. 事業の継続	本市独自の子育て支援事業の一つであり、保護者からおむつ代支給については、「経済的に助かっている」という声も聞かれている。今後も、子育て支援の一助として継続していくことが必要である。	11,826	11,719	12,832	Ⅲ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる。誰もが活躍できる地域社会をつくる	健康増進課
37	R2～R6	男女共同参画啓発事業	男女共同参画社会の必要性について理解を深めてもらうため、啓発活動を行う。	男女共同参画の推進が重要だと思える市民の割合(%)	64.7		3. 地方創生に効果があった	情報誌による周知や、啓蒙のために自治会・事業者へチラシ配布を実施。また、市民や職員向けの研修会の開催により理解を深めてもらった。	3. 事業の継続	男女共同参画の推進は、継続して実施することで理解が深まる。今後も継続して実施すべき事業である。	222	344	302	Ⅲ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる。誰もが活躍できる地域社会をつくる	市民活動支援課
38	R2～R6	ハーモニーフォーラム開催事業	男女共同参画社会の実現に向け、市民の理解と関心を深めるため、フォーラムを開催する。	男女共同参画の推進が重要だと思える市民の割合(%)	64.7		3. 地方創生に効果があった	ハーモニーフォーラムは、コロナ感染拡大防止に伴い、中止となった。フォーラムは、推進員の発表の場でもあるため、情報誌のページ数を増やし取り組み内容や、予定していた内容をインタビュー記事にして掲載した。	3. 事業の継続	この事業は、市民の理解と関心を深めるため、継続して実施すべき事業である。	166	110	233	Ⅲ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる。誰もが活躍できる地域社会をつくる	市民活動支援課
39	R2～R6	人権擁護委員活動事業	人権相談や啓発を行う人権擁護委員の活動を支援する。	①相談会に訪れて満足をされた市民の数(人) ②人権問題に理解を深めた市民の割合(%)	(相談者なし)	(相談者なし)	3. 地方創生に効果があった	コロナ感染拡大防止にともない、様々なイベントが中止になってしまったが、特設相談会の開設や、市内の商業施設前での啓発に努めた。また、人権の花活動を実施し、活動の周知に努めた。	3. 事業の継続	人権擁護委員の活動は、人が幸せに生活するために必要な権利を守るため、相談業務や人権教室等を実施している。その活動を広く市民に向けて周知する必要があるため継続して実施する事業である。	186	173	178	Ⅲ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる。誰もが活躍できる地域社会をつくる	市民活動支援課
40	R2～R6	防災リーダー養成講座協働事業	地域防災力の強化を図るため、地域防災活動を普及啓発・指導できる防災リーダーを育成する。	①市防災リーダー養成講座修了者数(人) ②甲斐の国防防災リーダー養成講座修了者数(人)	①64 ②5	①35 ②10	3. 地方創生に効果があった	コロナ禍で人数を制限したことにより市防災リーダー養成講座修了者数は減少したが、地域防災力向上の核となる人材の育成であり、防災を始めとし地域の活性化にも繋がる可能性がある。	3. 事業の継続	引き続き、地域で活躍できるリーダーを育成していく。	126	-	221	Ⅳ 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する	防災危機管理課
41	R2～R6	子ども若者ささえ愛基金事業	子ども及び若者の未来を応援するために活動している団体等に助成金を交付する。	参加人数(人)	2,246人	2,140人	3. 地方創生に効果があった	子ども食堂や学習支援、交流体験活動などに取り組む10団体に助成を行った。コロナ禍の中で活動を縮小した団体もあったが、安心して過ごせる場を提供してもらうことができ、子どもの孤立を防止することができた。	1. 追加等更に発展させる	各団体ともコロナ禍の中でも工夫して活動を行っており、居場所づくりに寄与している。今後は補助内容を見直し、より広く活動できるよう努めていく。	731	821	1,900	Ⅳ 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する	福祉総合相談課

第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略 アクションプラン記載事業一覧

【資料8】

No.	事業期間	事業名	事業内容	本事業における成果指標			R4評価結果(R3実績)				第2期総合戦略・基本目標との関係	担当課			
				本事業における成果指標(単位)	実績値(R2)	実績値(R3)	実施効果		今後の方針				事業費(単位:千円)		
							1. 地方創生に非常に効果的であった 2. 地方創生に相当程度効果があった 3. 地方創生に効果があった 4. 地方創生に効果がなかった	どの様に効果的であったか、又はなかったか具体的に記入をお願いします。	1. 追加等更に発展させる 2. 事業内容の見直し 3. 事業の継続 4. 事業の中止 5. 予定どおり事業終了	今後の事業に対する担当者の考え(継続の有無含む)をご記入ください。			決算額(R2)	決算額(R3)	予算額(R4)
42	R2～R6	生活支援体制整備事業	単身や夫婦のみの高齢者世帯や認知症の高齢者が増加する中、医療、介護のサービス提供のみならず、NPO 民間企業、ボランティア等の生活支援サービスを担う事業体と連携をしながら、多様な日常生活上の支援体制の充実・強化を図る。	①生活支援コーディネーター(人) ②協議体の設置数(箇所)	①2 ②16	①2②16	3. 地方創生に効果があった	令和4年4月1日現在、市内に50の第3層協議体が創設されており、各地域の課題やニーズに沿った活動を行っている。活動は、住民による外出支援・生活支援・百歳体操・見守り・居場所づくりなどさまざまな支えあいの活動を行っており、高齢者の生きがいづくりにも繋がっている。	3. 事業の継続	地域の課題やニーズに対する活動を行う第3層協議体の市内全域での創設を推進するとともに、現在活動を行っている第3層協議体を支援していく。	8,970	9,338	10,042	IV 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する	介護福祉課
43	R2～R6	CSW配置事業	地域の身近な相談支援機関として、個別支援や様々な地域課題の解決に向けた取り組みをコーディネートをする専門員としてコミュニティソーシャルワーカーを配置する。	相談件数(件)	771件 内訳 597件(新規) 174件(継続)	746件 内訳 322件(新規) 424件(継続)	3. 地方創生に効果があった	コロナによる失業、収入減となる方が多く、貸付の相談への対応もあり、相談件数は昨年と同程度であった。昨年度新規のケースが今年度に継続され、家庭に埋もれている課題の掘り起こし、その後の支援につなげることができた。	2. 事業内容の見直し	制度や分野で区切らず、住民が身近に相談でき、専門的な課題は市の専門機関につなげる役目を負うCSWは横断的、重層的な相談体制を推進するために重要な役割を担っている。R4からは、ひきこもり等の支援のため、アウトリーチにも重点を置き事業を進めていく必要がある。	25,000	25,000	25,000	IV 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する	福祉総合相談課
44	R2～R6	幸せ実感 南アルプス市健康リーグ事業	健康からまちづくりを推進し医療費の抑制につなげるため、補助金事業とポイント制によるウォーキング事業を通じて健康意識の高揚を図る。	①ポイント引換数(枚) ②補助金交付数(件)	82.84%	①2,049 ②1	3. 地方創生に効果があった	歩くことによって健康ポイントが付与されお買物券と引き換える。市内の健康リーグ加盟店で利用でき地域の貢献に繋がる。	3. 事業の継続	市民の健康づくりに取り組む団体・個人へ継続して支援する必要がある。	9,136	6,924	10,893	IV 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する	健康増進課
45	R2～R6	健診(検診)事業	疾病を早期に見出し早期治療につなげること及び更なる健康の増進をはかるため、各種健診(検診)を実施する。	①健診申し込み延べ人数(人) ②健診申し込み実人数(人)	①67,997 ②19,818	①64,525 ②19,695	3. 地方創生に効果があった	健診申込数は前年度比で減少したものの、市民一人ひとりが健診結果から自らの健康状態に関心を持ち、生活習慣を見直し、生活習慣病の発症を防ぐためには必要な事業である。	3. 事業の継続	生活習慣病の発症予防と重症化予防に取り組み、健康の保持・増進に繋げる。	209,891	203,209	234,945	IV 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する	健康増進課
46	R2～R6	救急医療体制整備運営支援事業	休日夜間の当番医の日程調整等の業務を中巨摩医師会に委託し、救急医療体制を確保する。	休日夜間救急医療受診人数(一次救急)(人)	2,609	2,655	3. 地方創生に効果があった	市民の救急医療受け入れ体制を確保することで、市民が安心して医療が受けられることに繋がる。	3. 事業の継続	地域の医療の充実のため、市として継続して支援する必要がある。	1,591	1,585	1,585	IV 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する	健康増進課
47	R2～R6	救急医療確保対策事業	救急医療整備のため、中巨摩医師会へ在宅型急患事業の委託、市内二次救急病院へ補助金交付を行う。	休日夜間救急医療受診人数(一次救急)(人)	2,609	2,655	3. 地方創生に効果があった	医師会への委託料・不採算の深夜帯を担う3病院への運営支援を行うことで地域の救急医療体制の確保を図る。	3. 事業の継続	地域の医療の充実のため、市として継続して支援する必要がある。	38,038	37,718	38,097	IV 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する	健康増進課

第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略 アクションプラン記載事業一覧

【資料8】

No.	事業期間	事業名	事業内容	本事業における成果指標			R4評価結果(R3実績)				事業費(単位:千円)			第2期総合戦略・基本目標との関係	担当課
				本事業における成果指標(単位)	実績値(R2)	実績値(R3)	実施効果		今後の方針		決算額(R2)	決算額(R3)	予算額(R4)		
							1. 地方創生に非常に効果的であった 2. 地方創生に相当程度効果があった 3. 地方創生に効果があった 4. 地方創生に効果がなかった	どの様に効果的であったか、又はなかったか具体的に記入をお願いします。	1. 追加等更に発展させる 2. 事業内容の見直し 3. 事業の継続 4. 事業の中止 5. 予定どおり事業終了	今後の事業に対する担当者の考え(継続の有無含む)をご記入ください。					
48	R2～R6	交通政策推進事業	市民の足としての公共交通を確立し、高齢者等の外出機会の創出と地域の活性化を図る。	①利用者(人) ②走らせた本数/日(本)	①54,394 ②50	①60,605	3. 地方創生に効果があった	毎年度、利用者が増加している。特に通勤通学者の利用が伸びている。	3. 事業の継続	コミュニティバスを含め、本市に適した公共交通網を整備していく必要がある。	104,982	105,454	120,146	IV 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する	市民活動支援課
49	R2～R6	路線バス支援事業	生活に必要なバス路線を維持するため、自主運営バス業務を委託し、赤字バス路線事業を補助する。	①過去1年間の路線バス利用者(%) ②事業費に対する本市の負担割合(%) ③事業者の事業収益における補助金の割合(%)	①9.5 ②14.4 ③28.0	①8.1 ②14.3 ③30.9	3. 地方創生に効果があった	支援事業の実施によりバス路線が維持され、市民生活の利便性が図られた。	3. 事業の継続	バス利用者を増やすためのPR活動等を行い、安定したバスの運行の確保に努めていく。	14,305	14,046	13,902	IV 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する	市民活動支援課